



「丸い石」発掘 念入りに観察

大井川拡幅工事現場

生物の死骸包む「ノジュール」かも？

国土交通省静岡河川

事務所と県地学会は11日、島田市牛尾の大井川拡幅工事現場で見学会を開いた。会員や地元住民が参加し、現場で発見された「ノジュール」と考えられる丸い石や露頭を観察、採取した。

ノジュールは、生物の死骸周辺に集まったバクテリアなどが作る

「ノジュール」と考えられる丸い石を観察する参加者＝島田市牛尾

炭酸カルシウムが沈殿した球状の塊。ノジュールと見られる石は、開削した牛尾山の砂泥岩層から発見され、最も大きい石は直径1・5メートル、重さ3トに及ぶ。

市から調査を依頼された県地学会メンバーは、ハンマーを手に現場を念入りに観察し、ノジュールと考えられる石を掘り出した。

伊東市の斎藤俊仁さん(71)は「深海底でできたものに触れるのは感動的」と目を輝かせた。

県地学会は今後、比重測定や石の中身を確認する調査を実施する。